

戦評用紙 2

大会名	第 21 回ヒロシマ国際ハンドボール大会
期日	2016 年 7 月 23 日
会場	広島市東区スポーツセンター
開始時刻	13 : 00
種別	女子
対戦チーム	SK オーフス 対 広島メイプルレッズ

戦評

SK オーフスのスローオフから始まったこの試合、14 番の豪快なミドルシュートにより SK オーフスが先制点を獲得。対する広島メイプルレッズは体格差に苦しみながらも 7 番笠木がディフェンスの間から積極的にシュートを狙い得点を重ねる。しかし両チームともパスミスが目立ち、流れを引き寄せることができない。広島メイプルレッズは一対一メインとした SK オーフスのディフェンスに対して素早いカットインでシュートの形は作れるが、SK オーフス GK が好セーブを続ける。また、広島メイプルレッズの高い位置のディフェンスに対して、前後左右にしっかりとボールを回していい形でオフENSEを展開できた SK オーフスは、16 - 10 と 6 点リードで前半を終了した。

後半の立ち上がり広島メイプルレッズは丁寧な 2 対 2 のオフENSEと GK 板野の好セーブが重なり、後半 5 分ごろには 15 - 17 と 2 点差まで詰め寄る。後半 10 分ごろ、SK オーフス 29 番が 2 分間退場となるが粘り強いディフェンスによって 2 点差から詰めさせない。また後半 20 分ごろには広島メイプルレッズ 5 番真継の 2 分間退場した間に SK オーフスは着実に得点を重ね、19 - 26 と 7 点差まで突き放す。相手の高い個人能力に対応しきれなかった広島メイプルレッズは再び流れを掴むことが難しく 22 - 28 で SK オーフスが勝利を収めた。

広島県立賀茂高等学校ハンドボール部副顧問 佐々木 俊介